

学校だより「はつやま」

㊦㊧ はつらつとした子
(きらきら)

㊦ やさしい子
(ほかほか)

㊦ まなぶ子
(ぐんぐん)

令和4年12月13日 第43号

壱岐市立初山小学校

文責：校長 野間 恭介

人権週間(12/4から12/10まで)

12月4日から12月10日までは「第74回人権週間」でした。

昭和23年(1948年)12月10日に、国際連合総会において、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、採択日である12月10日は「人権デー」と定められています。

日本では、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日まで)を「人権週間」と定め、昭和24年(1949年)から毎年、全国的に人権啓発活動を行って来ています。

本校においても、この期間に様々な取組を行い、壱岐市の教育努力目標である「差別や偏見を決して許さない人権教育・同和教育の推進」を図りました。

12月8日(木)には「人権集会」を行いました。内容は以下の通りです。

- ①はじめの言葉
- ②各学級のなかよし宣言のふり返し
- ③児童一人一人の人権標語の発表
- ④読み語り「にげて さがして(ヨシタケシンスケ)」
- ⑤人権の歌斉唱「ビリーブ」
- ⑥校長の話
- ⑦終わりの言葉

子供たちは、なかよし宣言のふり返しを通して、自分たちの今までの言動をしっかりとふり返し、今後の言動について考えることができました。

人権標語は、自分や友達の人権を尊重しようとする気持ちがよく表れた素晴らしい作品ばかりで、とても感動しました。

最後に私から以下のような話をしました。少し難しい内容ではありましたが、子供たちは真剣な表情で話に耳を傾けてくれました。

みなさんは、ウクライナとロシアの戦争は知っていますよね。今でもずっと続いていて、始まってからもう10か月になります。この間に、たくさんの人がなくなったり、けがをしたりしています。

少し前に、日本に避難してきているウクライナの人の話を聞く機会がありました。その中でとても印象に残った言葉が「涙を流すことを忘れていた」ということです。これは、お話を聞いていた人が涙を流す姿を見て言った言葉です。なぜ、忘れていたのでしょうか。それは、あまりにもつらい体験をすると、人間は感情を失ってしまうからだそうです。これを聞いて、本当につらく悲しい気持ちになりました。

人権とは、「人が生まれながらにして自分らしく自由に生きる権利」のことです。うれしいときには笑う、悲しいときには泣くという自由をうばう、これはその人の人権をうばっていることになります。

みなさんが発表した標語のように、それぞれの人権を大切にして、みんなが自分らしく自由に生きていける世界にしていきたいです。

そのために、校長先生もみんなの人権を大切にしていきます。みなさんも自分やまわりの人を大切にしてください。





持久走記録会・もちつき会開催！

12月11日（日）、持久走記録会・もちつき会を開催しましたところ、多数の保護者、地域の皆様に参会いただき、ありがとうございました。

持久走記録会では、子供たちに「自分に挑戦し勝つこと」、すなわち「自分の今までの記録より少しでも時間を縮めること」を話しました。子供たちは、自分の記録を更新しようと、最後まで一生懸命に走り抜くことができました。全員が無事にゴールできたこと、とてもうれしく思いました。保護者・地域の皆様の温かな応援のおかげです。本当にありがとうございました。

もちつき会では、子供たちはもちをついたり、もちを丸めたりする活動を、とても楽しそうに取り組んでいました。経験のある子供も、経験のない子供も、それぞれ貴重な体験をすることができました。頑張った後は、おいしいおもちが待っていて、みんな笑顔いっぱい食べていました。おかわりする子もたくさんいるくらい、おいしかったようでした。

保護者・地域の皆様には、準備から片付けまでご協力いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。皆様の協力がなければ、このような貴重な体験はできませんでした。本当にありがとうございました。

